KYOCERA

KSRS Webセミナー

Kanagawa Spine Research Society

特定非営利法人 神奈川脊椎研究協会

2022.5.27 [Fri]

18:30~19:30

ZOOMによる Webセミナーです

登録用URL https://kyocera.zoom.us/webinar/register/WN_TSA1eEZLSxu7sE8vqNJcYw#/registration

【参加費用】無　料



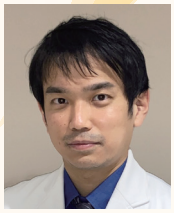
座長 **大下 優介** 先生
昭和大学横浜市北部病院
整形外科 講師

アテトーゼ型脳性麻痺に伴う頚髄症に対する手術戦略



演者 **新村 高典** 先生
国家公務員共済組合連合会
横浜南共済病院 整形外科 医長

当院における腰椎椎間板ヘルニアの治療戦略



演者 **江守 永** 先生
昭和大学横浜市北部病院
整形外科 講師

京セラ株式会社 メディカル事業部
〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
https://www.kyocera.co.jp/prdct/medical/

©2022 KYOCERA Corporation

アテトーゼ型脳性麻痺に伴う頚髄症に対する手術戦略

国家公務員共済組合連合会
横浜南共済病院 整形外科 医長
新村 高典

アテトーゼ型脳性麻痺（アテ型CP）は、二次障害として頚部脊髄症を発症することは広く知られています。アテ型CP頚髄症は頭頚部の不随意運動が特徴的であり、手術後も持続するため、初回の手術方法や範囲は慎重な検討を要します。当院での当疾患に対する手術戦略について紹介させていただきます。

当院における腰椎椎間板ヘルニアの治療戦略

昭和大学横浜市北部病院
整形外科 講師
江守 永

腰椎椎間板ヘルニアは、7割程度の患者が3～6ヶ月程度の保存治療で軽快するといわれている。保存治療が奏功しなかった症例に対しては、手術加療を行うことが一般的であったが、2018年に臨床使用が可能となった、コンドリアーゼによる化学的髄核融解術の登場は、腰椎椎間板ヘルニアの治療にパラダイムシフトを起こした。

今回、当院で施行したコンドリアーゼ治療の治療成績や効果不十分となった症例の検討を中心に、当院における腰椎椎間板ヘルニアの治療戦略について報告させていただく。

視聴方法

❶下記URLまたはQRコードから事前登録を
完了いただくと視聴用URLが届きます。

❷当日は視聴用URLよりアクセスをお願いいたします。

登録用URL https://kyocera.zoom.us/webinar/register/WN_TSA1eEZLSxu7sE8vqNJcYw#/registration